

「少子化と人口減少」についてさまざまな立場から討論したサイエンスカフェⅡ
新潟市中央区



少子化、人口減少考える

新潟大ELSIセンター

「討論カフェ」初開催

中央区

新潟大ELSIセンターは「少子化と人口減少」をテーマに討論する一般市民向けのサイエンスカフェを、新潟市中央区の異人池建築図書館喫茶店で初めて開催した。経済学、生殖医療、出産という異なる視点で医師らが意見を交わし、社会への影響について議論を深めた。

同大ELSIセンターは4月に発足した。国立大で

大阪大に続き2番目に設立された。ELSIは倫理的(E)、法的(L)、社会的(S)な課題(I)の略語。現代社会で日々新しい技術が生み出される中、多角的な視点から社会への影響を予測するための研究を進めている。

14日に開かれたカフェにはオンラインを含め約50人が参加。新潟大経済科学部の溝口由己教授は少子化対

策には働き方改革に注力すべきだとした上で「女性『が』ではなく、女性『も』働きやすい環境を整え、平等式家族を目指した方がいい」と話した。

意見交換では「男女で体のつくりが違う。性別役割を明確にしながら、不公平のない働く環境を整えるべき」などの声が上がった。参加した新潟大大学院保健学研究科1年、松本こずえさん(32)は「研究者の講演を聴くことは多いが、同じ目線で討論する機会はなかった。自分の研究の参考にもなった」と話した。